

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 492

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サンダリー	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センターあさやけ	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東 1 階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ鷹の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



手織りマフラーやストールなどを製作している自主運営班です。
みんなで丁寧な仕事を心がけています。作業所内にあるショップも足に
来てください。

仕事仲間

あさやけ鷹の台作業所



松原 正子さん
(あさやけ作業所)

仲間紹介

ひとりひとりが太陽

働く中でたくましく



今回紹介する仲間は、「働く中でたくましく」という言葉がびつたり合う作業所最年長の松原正子さんです。三月六日に誕生日を迎え八十五歳になりました。小平に引越してきたことを契機に二〇〇六年に入所したので、十五年がたちます。入所時点ですでに六十五歳を超えていましたが、「働きたい」ということであさやけを選び入りました。

あさやけに入る前は、一般就労の経験や都内の作業所で長く働いていたこともあり、作業所でやるいろいろな仕事ができます。本人も仕事をすることが本当に好きで、現在、箸やマスクの袋入れ作業・値札貼り、封入や丁合作業等を張り切って行っています。とても熱心に仕事に取り組んでいるので、職員が体調のことを心配して「無理しないで休憩して」と何度も言うほどです。また、一緒に働く車イスのメンバーの手伝いをしたり、調子の悪そうなメンバーを気遣ったりするなど、とても人に対して優しい面を多く見せてくれます。

仕事大好きな松原さんですが、仕事以外にもいろいろな楽しんでます。歌を唄うことも聴くことも好き

で、クラブ活動のカラオケでは「南国土佐をあとにして」や「津軽海峡冬景色」を選んでいつも唄います。歌番組も好きで家でよく見ており、ジャニーズの「嵐」の大ファンで特に相葉君が大好きだそうです。「嵐」が好きななんてとっても若いですね。

また、ドラマの「相棒」や「朝顔」を見るのが好きで、「相棒」を見た翌日には、職員と「相棒」の話をしていきます。

現在、週三回をあさやけ、週二回をアイサービス、週一回をリハビリテーションに通うなどとても精力的に活動しており、どの活動も充実しています。今年度は、けがや体調不良はあったものの、コロナの関係での自粛休みは別として連続して作業所を休むことなく、元気に作業所に通っていました。本人に「疲れて作業所を休みたいと思うことはないの」と聞くと「疲れて休みたいと思うことはない。作業所に通うことが楽しい」という答えが返ってきました。そして本人の今後の希望も「あさやけ作業所に通いたい」とのことです。体調管理をしながら長く通ってもらいたいものです。

「ピクルスの始まり」

「CAZE CAFEなかまちのピクルスを製品化しませんか？」この一言からあさやけ第二のピクルス製造が始まりました。電話の主は小平市を中心に様々なイベントの仕掛け人である出口みちたかさんでした。出口さんは、CAZE CAFE なかまちのカレーの付け合わせに出されたピクルスを食べてこのアイデアを思いついたそうです。二〇一七年夏の終わり、一本の電話からあさやけ第二のピクルス製造が開始しました。

「初のイベント出店」

ピクルスのデビューは八月に行われている「灯りまつり」でした。かきの木公園で出口さんが手掛けるイベントへの出店で、そもそもピクルスが売れるのかと疑心暗鬼、全くイメージがつかめないまま準備に取り掛かりました。最初は使う野菜から漬け酢づくりまで試行錯誤しながらやるしかありませんでした。漬ける野菜に合わせて、かつお節を入れた和風、八角を入れた中華風など漬け酢もいくつかの種類を用意しました。イベントでは多くのお客様に試食していただき、おいしいと言って買っていただいたことをよく覚えていきます。

あさやけ第二のピクルス製造

あさやけ第二作業所
高橋 ひかり

「作業化に向けた取り組み」

ピクルス製造がようやく形となってきたのはその後一年経ってからです。その頃には、市内で開催されるハンドメイド雑貨や食品を扱ったイベントにも参加させていただき、少しずつではありますが「あさやけピクルス」の販売範囲を広げていた時期です。そろそろ作業として工程化していきたいと考え、メンバーのAさんに加わってもらったことになりました。あさやけ第二は生協のチラシセットや公園清掃をメインとした作業を行っているため、食品製造はおそらく初の試みだったのでなかなかと思います。初めは「なにをすれば良いのでしょうか」と不安そうに尋ねるAさんでしたが、今では人参ときゅうりの下ごしらえ担当です。注文が入った時やイベントで販売をして完了したことをAさんに伝えると、「たくさん売れてよかった」と嬉しそうです。

作業時間が限られていたり、参加するメンバーが決まっていたり、少しずつではありますが評判が口コミで広がり、あさやけピクルスのファンも増えていきます。地元農家や地域とのつながりという面でもピクルスの作業の発展を祈り、私は新天地でも活躍できるよう日々邁進して参りたいと思います。

あさやけ自主製品の紹介

手作りマスク

サングリーン



サングリーンのおすすめ商品「手作りマスク」はワッシャー加工の生地でおしゃれ感アップ。好きなカラーを見つけてください。詳しくは8ページをご覧ください。

ピクルス

あさやけ第二作業所

野菜が苦手な方でも食べやすくおいしいピクルスを製造しています。小平産の季節の野菜や珍しい野菜を使用するのがポイントです。Tacos MercadoさんやCAZE CAFÉ なかまちで販売しています。ご注文も随時承っておりますのでぜひお試しください！



パウンドケーキ

あさやけ風の作業所



ブローチ

あさやけ風の作業所



あおぞら班ではブローチを作っています。カラフルな毛糸を、ひと針ひと針編み込んで作ります。

あおぞら班のムードメーカー河原崎伸夫さんも作り手のひとりです。ご本人の愛称、「のんちゃん」のブローチ」をブランド名として販売しています。

昨年は、コロナの影響でバザーやミニショップが開催されずに、販売の機会が大幅に減ってしまいました。今年は、少しでも多くの人にこのブローチが届くといいなと思っています。先の河原崎さんにブローチについて一言お願いしたところ、「伸夫はブローチ作りました。伸夫は近藤真彦さんはファンになりました。マッチです。」とのこと。

一個300円で販売しています。大量のご注文の場合割引もあります。ご相談ください。お待ちしております。

和ふきん

あさやけ作業所

30年以上続くあさやけ作業所のふきん作り。かかわるメンバーも職人のような手さばきで日々製作に取り組んでいます。ふきんに使用しているかや生地はレーヨン100%のため、加工処理をすることで土に還る素材として知られています。吸水性に優れ、消臭効果もある素材です。

ご自宅での使用だけでなく、ちょっとした贈り物になるような商品作りを日々考えています。注文は平日いつでもあさやけ作業所で受け付けております。また、ときわ会ホームページでも注文することが可能です。大量注文にも対応しておりますので、ご利用の際はご連絡ください。



共同ホームはやぶさの暮らし



共同ホームはやぶさは開設8年目を迎え、30代・40代の男性入居者の方7名が在籍しているグループホームです。入居者各々の生活スタイルが尊重され、ゆったり安全に生活できるグループホームを目指しており、入居者の方の能力に依拠した生活支援を行なっています。土曜や祝日も基本的には開所していますが、ホームで1日を過ごす方もいれば、行動支援を依頼し散歩等外出される方、御家族で外出される方もいて過ごし方は様々です。

ある入居者の方はホーム入居以降、日に日に発語のレパートリーが増えており、職員を驚かせています。例えば職員と一緒に水を飲むときに「乾杯」と音頭を取ったり、土曜日に職員が皆と同じ昼食を食べていると近くに来て「おいしい？」と聞いていたり、たまにはふざけて職員にイタズラをすることもありますが、間違いなく意思表示やコミュニケーションの幅が広がっていると感じています。

もちろん皆さんでも自分ができる限りの意思表示やコミュニケーションをしてきていて、「はやぶさ」だからこそ発するアピールもあります。例えば「入浴したい」とか「外出したい」とか「雑誌が気になる」とか「構って欲しい」といったことだけでなく「髪の毛にゴミがついているよ」と手を差し出して教えてくれることもあり、我々職員も彼らの一挙手一投足を日々アップデートしながら過ごしています。職員も個性的な方ばかりでそれぞれ工夫して入居者の方との関係を構築しており、他の職員の方の接し方を見聞きする事は支援やコミュニケーションの幅を広げてくれるきっかけとなることが少なくありません。

昨今のコロナ禍において密を避ける事が呼びかけられていますが、ひとつ屋根の下での共同生活故に密を避けることは簡単なことではありません。入浴など生活の中でどうしても密にならざるを得ない場面

があります。しかし皆手洗いうがいなどの感染症対策はしっかりしてくれることもあり今年度も元気に過ごす事が出来ました。これからも「はやぶさ」らしく適度にリラックスしながら、毎日元気に過ごしていけたらと願っています。



あさやけ自主製品の紹介

ART SHOPの春商品

あさやけ鷹の台作業所

あさやけ鷹の台の春の商品のひとつに、手織りストールがあります。さくらやあかね、やまもも、藍で染めた糸を使って織っています。

綿麻の糸を使っていますが、ウールの糸とは違い、細く硬めの感触のためとても織りにくく難しいのです。目が均等になるように丁寧に織ることを心がけています。

「たて糸をとばして織らないように気を付けています。織るのは楽しい！」と話してくれました。

綿麻の糸のさらっとした肌触りが、春のほかほか陽気にぴったりです。



手織りストール 5000円



新しくランチマットが登場しました。今年の春の新商品、約35×27cmのランチマットです。

動物やお花の刺しゅう、目玉焼きやりんごの形のワンポイント付きです。

布を切る、ミシンで縫う、フェルトを縫いつける、などそれぞれ役割を決めて作っています。

ランチマットがいろんな人の手に届くよう、制作を楽しみながらみんなで力を合わせて一針一針丁寧に作るように心がけています。



1枚300円 2枚セット500円

サングリーンのマスク

ご注文お待ちしております。



おすすめ
セット



注文番号・商品	価格 (税込)	注文番号・商品	価格 (税込)
1 3枚セットA	1000	8 ホワイト	300
2 3枚セットB	1000	9 パステルグレー	300
3 3枚セットC	1000	10 グレー	300
4 ブラック	500	11 ブルー	300
5 ライトグレー	400	12 オレンジ	300
6 アイボリー	400	13 モカ	300
7 ピンク	400		

布面は綿100%

内側はさらし素材を使用しています。

※ブラックのみ内側はダブルガーゼ仕立てです

こども用マスクもあります。100枚以上のご注文も対応いたしますので
お問い合わせください。



マスクしよう

社会福祉法人ときわ会
サングリーン
〒187-0032
東京都小平市小川町
1-943
TEL 042-345-1585
FAX 042-345-1568
#green3@asoyake.or.jp

廃品回収のお知らせ

2月の廃品回収は緊急事態宣言が発令されていたので中止とさせていただきます。
皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

次回は4月17日(土)が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。